

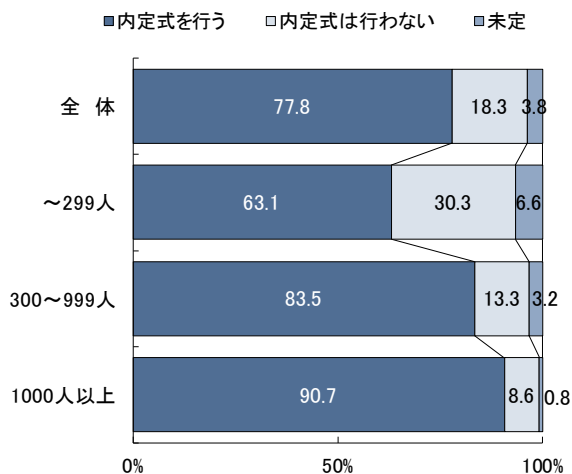
企業の採用意欲の高い状態が続く新卒採用市場。10月の正式内定解禁日を迎えるタイミングでの採用活動の進捗や充足状況を確認すべく、「キャリアタス就活」掲載企業など全国の有力企業を対象に調査を行った。多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ内定式実施状況を紹介したい。

企業の内定式実施状況

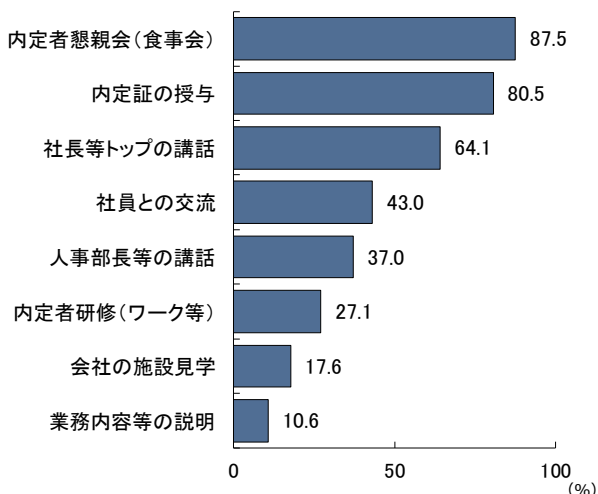
内定式の実施について尋ねたところ「内定式を行う」が7割強に上った（77.8%）。従業員企業規模別に見ると、1000人以上の大手企業では9割を超え、規模が大きいほど実施率が高い。

内定式で実施するもの、または内定式とあわせて実施するものを尋ねると、最も多いのは「内定者懇親会（食事会）」で9割近くに上る（87.5%）。次いで「内定証の授与」（80.5%）、「社長等トップの講話」（64.1%）が続く。

内定式の実施有無



内定式当日に実施するもの



内定式で工夫していること

- ・多くの仲間が入社するのを体感してもらうことを、まずは考えています。早く同期の友人を作れるよう、グループワークを実施しています。 <専門商社/大手>
- ・幅広い年齢層の社員と交流できるようにしている。 <情報処理・ソフトウェア/中堅>
- ・内定者同士の懇親を深め、内定辞退を防ぐ。また先輩社員と懇親の場を設けることで、会社への理解を深めギャップをなくしていく。 <専門店/中堅>
- ・拠点が3カ所あるので、ネットで繋いで同時に実施しています。 <情報処理・ソフトウェア/中小>
- ・希望職種を聞く時間を設け、配属先の検討材料とする。 <機械・プラントエンジニアリング/中堅>
- ・後日、親御さんへ内定式の写真とお礼のお手紙を送るようにしている。 <鉄鋼・非鉄・金属製品/中堅>

（参考）内定式に参加した感想（学生調査：キャリアタス就活2020学生モニター 2019年10月調査）

- ・いよいよ社会人生活が始まると思うと身が引き締まった。また、現在の会社の取り組み、課題について理解がさらに深まり、入社を決定したことについて喜びを噛み締めている。 <理系男子>
- ・緊張感のある時間を過ごし、残り半年で社会人として頑張っていかなければいけないのだと感じたのと同時に、学生生活を謳歌したいと強く感じた。 <文系男子>
- ・内定式自体は30分と手短かで、交流が多くて楽しかったです。ボウリングや懇親会を通して、役員の方々と近い距離で交流することができました。 <理系女子>
- ・9時間拘束されて長いと感じた。 <理系男子>
- ・内定者が全国に散らばっていることもありWeb配信だった。実際にスーツで本社に赴かなくていいのは、授業などに影響が出ず良かった。 <文系女子>
- ・入社後、上司となる可能性高い方々と接する機会だったため、参加して良かったと思う。 <文系男子>

<企業調査 調査概要>

調査名：2020年卒 新卒採用に関する企業調査－内定動向調査
調査対象：全国の主要企業 13,658社
調査時期：2019年9月25日～10月4日
回答社数：1,474社
調査方法：インターネット調査法